

## I 研究の内容

### 「豊かな心で未来に向かって生きる生徒の育成」 ～しなやかな心を育成する道徳教育の充実～

#### 1 主題設定の理由

2年前の東日本大震災に際しては、被災地の子どもたち、特に多くの中学生が、自分の命を守り抜いただけでなく、地域の避難所運営の手伝いや清掃などのボランティア活動に進んで取り組むなど、様々な困難を乗り越え、大きな力を発揮しました。こうした力こそ、新学習指導要領の目指す「生きる力」にほかならず、多様な人々との関わりや様々な経験を重ねていく中でこそ豊かに育まれるものだと思います。

県教育委員会では、平成24年度より「しなやかな心の育成プロジェクト」を実施し、学校、家庭、地域が一体となった道徳教育を推進しています。自分や他人の生き方・存在を認め合い自他を敬愛するしなやかな心を育む取り組みが各学校において進められている最中です。このような「しなやかな心」を育成させることこそ、先述した東日本大震災の子どもたちのように、困難や挫折に直面しても、粘り強く最後まで諦めない子どもを育むことに直結していくことと思います。

新学習指導要領には道徳の目標について「学校の教育活動全体を通じて、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養うこととする。」とあります。道徳性を養うためには、要となる道徳の授業で「道徳的実践力（実践できるための内面的資質）」を育み、各教科や総合的な学習の時間、日常の生活指導などを通して「道徳的実践（道徳的行為）」を促すことができるのだと思います。このようなことから、道徳性の育成は週1回の50分の道徳の時間では十分とは言えないと考えます。各教育活動での道徳教育が、その特質に応じて効果的に推進され、相互に関連が図られる必要があると思います。さらに、道徳の時間において、各教育活動での道徳教育が調和的に生かされ、道徳の時間としての特質がおさえられた学習が計画的、発展的に行われることによって、生徒の道徳性は一層育まれていくことになるはずです。これらのことから、本校の生徒の道徳性をより身につけさせるために、道徳の時間を要としながら、各教育活動との関連を図ること、家庭や地域社会との相互理解と連携を推進することの研究を行うことと考えました。

#### 2 研究内容

##### (1) 研究部会

##### ア 教科研究部会

- ・生きる力を育むために必要な思考力・判断力・表現力を養い、確かな学力を育成する授業づくりの研究。
- ・道徳教育と各教科の目標、内容及び教材を関連付けた授業研究

##### イ 道徳教育部会

##### 第1分科会「授業研究」

- ・道徳の時間の授業改善、教材の開発などを研究

##### 第2分科会「学校生活」

- ・授業以外の学校生活の中での道徳教育について研究
- ・生徒に道徳的価値を意識させる環境づくりの研究
- ・道徳教育と各月の生活目標を関連付けた授業研究

#### 第3分科会「家庭・地域との連携」

- ・家庭・地域の方の参加による授業研究（道徳授業地区公開講座）
- ・学校・家庭・地域が一体となって行う道徳教育の発信方法の研究

#### (2) 生徒の実態を把握するアンケートの実施

学校における道徳教育の充実を図れるよう、学級・学年全体、ならびに生徒一人ひとりの道徳性の実態や傾向を客観的に把握するために実施したい。

「HUMANⅢ」（新道徳性検査）

## II 成果と課題

### (1) 成果

今年度は、各教科の学力向上へ向けての研究を進めるとともに、「やまなし」道徳教育推進事業の指定を受け、道徳教育の充実に力を向けて研究を進めてきた。公開の1年目ということで、校内研究体制の全体的な見直しを行った。研究主題と研究副主題の再考・研究組織の見直し・研究内容の確認の3つを中心にしながら、道徳研究部会では3つの分科会に分けて研究をしてきた。特に、第1分科会の「授業研究」では、授業改善と教材の開発を中心に研究を進めてきたが、初年度から公開授業があり、それに向けての学習会や研究授業、授業案の検討と充実した研究を進めることができた。1月に行われた公開授業では、1・2年生の計4クラスで授業が公開されたが、どの授業も資料の精選をはじめ、発問の工夫や道徳的実践力の育成を図る授業内容に、指導・助言の先生方から高い評価を受けることができた。

### (2) 課題

今年度は、道徳の授業を中心に研究を進めてきたこともあり、教科研究や道徳の他の分科会の研究がなかなか進まないという課題が残った。特に、第2分科会の「学校生活」や第3分科会の「家庭・地域との連携」では、研究の計画と問題点の洗い出しのみで終わり、具体的な研究を行動に移すことは次年度以降の課題となった。今後は、これらの研究を行動に移すとともに、授業で得た道徳的実践力（実践できるための内面的資質）を道徳的実践（道徳的行為）にどのように結びつけていくのか、道徳性検査などの検証を進めながら研究を深めていきたい。

## III 成果物

道徳指導案（1年・2年・3年）

「HUMANⅢ」（新道徳性検査）

家庭学習の手引き（全学年・5教科）

自学の時間（全学年、月曜日に実施）

（研究主任 山本 裕）